

I T 企業による新農業

(株式会社 つばさグリーンファーム)

<法人の概要>

所在地：埼玉県深谷市

設 立：平成 25 年

資本金：1,000 万円 売上高：7,500 万円（平成 27 年）
（うち農業：7,500 万円、うち農業関連事業：0 万円）

役 員：2 名（うち農作業従事者 1 名）

従業員数：常時雇用者 7 名（うち農作業従事者 7 名）

臨時雇用者 8 名（うち農作業従事者 8 名）

経営面積：5.6ha（深谷市） 営農作物：ねぎ、ブロッコリー等

農業開始時期：H25 年 5 月



とうもろこしの収穫



ネギ畑

<農業参入に至った経緯・動機>

- ・ 平成 22 年に現親会社である情報システム会社の(株)つばさ情報が農業へ参入。
- ・ コンピュータ業界は、数年で機器が入れ替わるために技術の蓄積が難しく、長く勤めるには厳しい職場である。このため、65 歳の定年対策や不況の中でも働ける職場を確保して地域の雇用の場とすること、また、荒れ地のままの農地を解消し地域に新鮮な野菜を提供することが農業に参入した動機である。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

- ・ 平成 21 年の農地法改正により、一般企業においても農地の賃貸が可能となったため、スムーズに農業に参入することができた。作物は、深谷市で昔から作付けているブランド力のある「ねぎ」を選択。
- ・ 苦労したのは、農地、資金及び人材の確保や農業の技術がなかったこと。農地及び作業場については社長及び社員自らが探して確保。設備の導入に際しては補助事業が利用できるかが分からなかったために利用せず、機械・冷凍設備を全て自前で整備。農地を所有すると固定資産税等かかるため、所有権ではなく賃貸借権のみで十分との考え。

<営農開始から現在まで>

- ・ 販路はスーパーに直接営業して確保している。ラディッシュについては、スーパーのバイヤーからリクエストがあったため生産を始めたもの。
- ・ 栽培技術は、自ら専門書で学んだほか、種苗会社経由や自ら直接農業者に依頼し指導を受けた。
- ・ 地元の雇用対策として正社員、パートを7名採用。社宅を用意し、全国から若手でやる気のある社員をハローワークを通じて募集している。3ヶ月の研修期間の後、正規採用している。
- ・ 平成25年に農業に特化した子会社として分社化し、(株)つばさグリーンファームを設立。親会社であるつばさ情報から農地を借り換え、農業経営を継続している。

<今後の農業経営の展開方向>

- ・ 今後は農地の規模を50haまで拡大し、社員及びパートを3倍にして安定的な野菜の供給体制を確保したい。パート・シルバー・障がい者でも、地域のやる気のある方なら、積極的に雇用したい。
- ・ 会社組織としては、社員には年収400~600万を確保し、子育てのできる魅力ある産業にしたい。
- ・ 農業は天候不順時に出荷できなくなるため、リスク分散のために全国に弊社の農場を設け、安定的な野菜の供給による経営の安定化を図りたい。また、直売所を作りたいので、6次産業化や農商工業連携に申請する予定。

<今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス>

- ・ 社長自らが農作業を行うことが大切。
- ・ 経営には、資源（人、物、金）、営業、技術、情報が必要。



ブロッコリー畑



直売所